

地域おこし協力隊員として抱負を語る
加治聖哉さん 長岡市栃尾支所



観光誘客 新たな手法で

栃尾の協力隊員を任命

長岡市は、栃尾地域の地域おこし協力隊員として、長岡造形大出身の加治聖哉さん(29)を任命した。栃尾地域に住み込み、空き店舗や空き家をギャラリーに改装するなどして交流人口増加を図る。

加治さんは村上出身。長岡造形大を卒業後、東京でアート作品の販売会社に1年間勤め、作品管理を担当していた。栃尾地域で活動するデザイナーから声が掛かり、移住を決めた。自身は廃材を使った木工アーティストを得意としている。

1日に栃尾支所で行われた委嘱状交付式では、学生時代に栃尾地域のイベント準備で何度も足を運んだ経験を話し、「栃尾は人がいいですね。油揚げ、酒、米もおいしい」と明るく語った。今後は会員制交流サイト(SNS)を活用し、「今までとは違うやり方で観光誘客を図りたい。やりたいことがあり過ぎて、身一つじゃ足りないくらいだ」と意気込んだ。

市内の協力隊員は現在13人で、栃尾地域では2人目。